

はじめに

「自立」とは何か？これが、私たちの研究の原点です。

一般的な辞書には「他の助けや支配なしに自分一人の力だけで物事を行うこと」あるいは「支えるものがなく、そのものだけで立っていること」などの意味が記載されています。しかし、改めて、「社会の中で自立する」ということを考えたときに、「自分一人の力だけで」という表現は、字義通りに成り立つものではありません。社会生活は、障害の有無に関わらず、周囲との関係性なくしては存在しないものだからです。

ある人が、自分一人の力だけでできていると考えている物事の多くは、実際には、周囲の支えを前提に、後天的に身に付けてきたものがほとんどであり、有形無形の社会の力を、あたかも自分の力として活用しているに過ぎません。つまり、「自立」とは、「社会の支えを前提として、自分の力で何かができるという状態になること」と言い換えても、成り立つ概念ではないでしょうか。

その視点で、捉えなおせば、子どもたち一人ひとりの「自立」を目指すということは、一人ひとりが社会の中でどう生きていくかを踏まえて、周囲の環境を調整しながら、持てる力を最大限に発揮できる状態にしていくことを意味することになります。

本校の今年度の研究テーマである「自立に向けた学習内容の共有化」は、児童生徒一人ひとりの自立に向けて、個々の力を伸ばしていくことと、環境設定のあり方を工夫していくこととの調和を図りながら、小・中・高と連続性のある学びを設定することにより、段階を踏んで社会自立に結び付けていくことを目指しています。

言い換えれば、「社会の中で支援を受けつつ、自分らしい生活をしていくために必要な力を身に付けられるようにする」には、小学部・中学部・高等部それぞれの段階でどのような取組をすればよいかを、明確にするための研究を進めていくということです。

緒に就いたばかりの研究ですが、多くの皆さまのご意見やご支援をいただきながら、着実に成果を上げていきたいと考えております。ぜひ、ご一読いただき、お声をお聞かせいただければ幸いです。

校長 田所 健司